

みなみいせ 2009



議会だより第12号

(平成21年6月1日発行)



みんなで楽しく (南勢子育てサロン)

平成21年 3月定例会

主な
内容

予算・条例・質疑	2~5
一部事務組合報告	6
議会運営の問題	7
11人が問う	8~13
議会基本条例への取り組み	14
追跡	15
住民の声	16

3月定例会の報告

経済大不況のもとでの予算

3月3日～23日まで、平成21年第1回定例会が開かれました。3月定例会では、一般会計予算、国民健康保険会計予算、病院事業会計予算など12会計予算を、7日間の予算特別委員会で審議を行いました。新年度予算以外では、20年度一般会計補正予算、医療整備基金条例の制定、工事請負契約の承認など35議案と、請願などの審議を行いました。

3日間の一般質問では、11人が質問に立ち、町長の姿勢を正しました。

反映されたか 住民の声

平成21年度 一般会計予算 (74億9580万円)

世界的な経済不況の中
で、町内の各産業への影
響も深刻化してきていま
す。そういう中で今年
度予算の特徴的な施策と
しては、

○ 押洲区、迫間浦区にコ
ミュニティセンターを
新設。(1億8610万
円)

○ 南島ステイカルセンタ
ーの移転予定に伴い、医
療施設整備基金を設置。
(1億5000万円)

○ 合併特例債を利用して、
地域振興基金を積み立
てる。(4億円)
○ 鳥羽志勢広域連合の、
ごみ処理施設建設事業
から脱退することを選
択。

○ 南島地域の中学校と、
南勢地域の小学校の統
廃合について協議会を
設置。
○ 一般コミュニティ助成
金(1070万円)
などがありません。
審議・採決の結果、賛
成14反対2で可決。

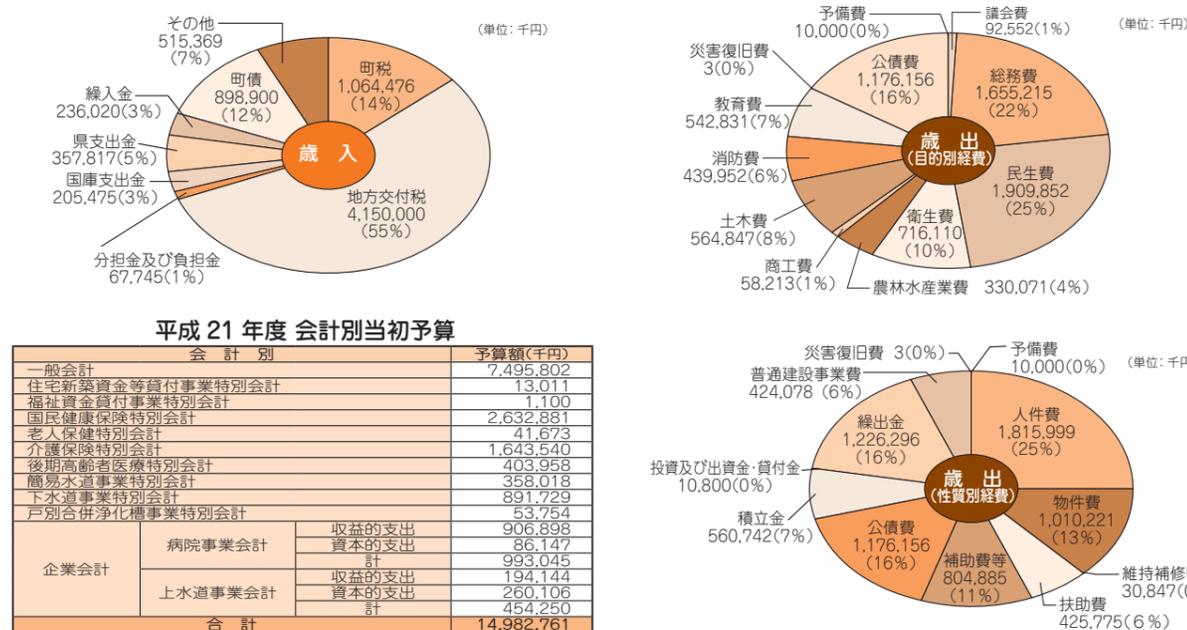


現在の迫間浦コミュニティ施設

助成金とはどういうもの
か。
行政経営課長 自治活動
の助成ということ、
南島は、あと何年使える
のか。
環境課長 約10年であ
る。

討論

反対討論 岡田和夫議員
今日の経済不況を考慮
した場合、新年度予算は住
民の暮らしを護り、将来
の産業育成を考えた予算
とすべきである。ところが
が、21年度予算は、住民
の暮らしの支援を考えた
ものではないということ
から、賛成することはで
きない。



会計別	予算額(千円)
一般会計	7,495,802
住宅新築資金等貸付事業特別会計	13,011
福祉資金貸付事業特別会計	1,100
国民健康保険特別会計	2,632,881
老人保健特別会計	41,673
介護保険特別会計	1,643,540
後期高齢者医療特別会計	403,958
簡易水道事業特別会計	358,018
下水道事業特別会計	891,729
戸別合併浄化槽事業特別会計	53,754
病院事業会計	906,898
企業会計	86,147
上水道事業会計	993,045
収益的支出	194,144
資本的支出	260,106
合計	14,982,761

特別会計予算

国民健康保険 (26億3288万円)

年金生活者などの国保
被保険者の増加等による
保険収入の伸び悩みと、
前期高齢者の増加等によ
り医療費の急騰があり
まっ、きびしい財政運
営となっています。

質問・答弁

議員 人間ドックの予定
人員は何人か。希望者が
多い場合に、伊勢市民病
院だけでやれないなら、
町立病院でも受けられよ
うにすべきでないか。
住民課長 人間ドックは
100人を予定している。
18年度は町立病院では希
望者が無かったが、町立
病院と協議させていただ
きたい。
(全員賛成)

介護保険

(16億4354万円)
介護保険料については、

質問・答弁

議員 新規サービスの、
「高額医療合算介護サー
ビス」は制度が複雑で、
医療を受けて、介護も受
けている人や家族が理解
できるのか。申請方法な
ど、住民への周知をきちっ
としてほしい。
福祉課長 該当者は、介
護保険と国民健康保険に
ついては把握できるが、
社会保険については把握
が困難であり、申請して
もらわなければならない。
制度を周知していく仲
で、取りこぼしの無いよ
うにしていきたい。
(全員賛成)

簡易水道

(3億5801万円)

質問・答弁

議員 上水道に移行する
時期はいつか。
上下水道課長 平成29年
度から上水道となる。
議員 簡易水道の値上げ
についてどのように考え
るか。
上下水道課長 地区説明
会でも説明したが、今後、
値上げの検討が必要であ
る。
(賛成15反対1)

質問・答弁

議員 社会保険の家族の
被扶養者が、後期高齢者
医療に変わった場合、保

下水道

(8億9172万円)

●質問・答弁●

議員 4月からの料金改定でも、南勢地区では水を50トン使う家庭では年間10万円の下水道料金がかる。浄化槽を使っている世帯では、6万円で済むことから、これでは浄化槽から下水道に変更してもらえない。家族が多い個人世帯には、浄化槽並みの料金の上限を設定すべきでないか。

上下水道課長 水を多く使われる家庭の加入促進のために、そういう特典、特例は考えていない。

討論

反対討論 岡田和夫議員
神前浦の処理場請負契約は、議会で否決されながら一業者との4億円近い請負契約にこだわり続けている。地元区民や下水道事業全体を考えると、こういう議決を無視したやり方をすることに賛成できない。



田曾浦下水処理場

戸別合併浄化槽

(5375万円)

●質問・答弁●

上下水道課長 地区から、下水道は止めて戸別合併浄化槽の区域に変更してほしいと要望があれば、生活排水処理計画の変更手続きをすることができる。(賛成14反対2)

議員 浄化槽区域では、個人が設置した合併処理浄化槽の管理を住民が町に依頼した場合は、条例で管理することになっているが、やってももらえるのか。

町立病院

(9億9304万円)

●質問・答弁●

町長 基準をクリアしたものであれば、当然、維持管理を行うのが、町の努めだと思ふ。(全員賛成)

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。



町立病院

町立病院

(9億9304万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

病院事務長

院長も、地域密着型医療を目指すなど、目指さなくてはならないと、常日頃から言われている。(全員賛成)

上水道

(4億5425万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

老人保健

(4167万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

住宅新築資金貸付

(1301万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

福祉資金貸付

(110万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

平成20年度一般会計補正予算

(9億9282万円)

●質問・答弁●

議員 南伊勢町にふさわしい、地域医療センター的な病院を作らなければならぬ。南勢地区もどうしてもやらねばならないが、町立病院を新築すべきと考えるが、どうか。

行政経営課長 病院の建設では、ある程度、全体構想が見えてきたら、それに対する財源の手当てを早急に考えていかねばならない。

●質問・答弁●

議員 地域活性化対策ということで、南勢の分庁舎解体撤去工事を始め、廃校となった小・中学校舎の解体撤去工事などが7件で、1億3000万円ほど入っている。今回の交付金事業は、地域の活性化対策なのだから、古いものの解体撤去でなく、南島西中学校のひび割れの修繕や、津波時の避難路整備、観光協会や

りました。今回の補正は、国の第二次補正に伴う補正であり、主な内容は定額交付金の給付事業、子育て応援特別手当事業、地域活性化・生活対策交付金事業などです。

主な交付金事業は、①南勢庁舎分庁舎解体 ②旧田曾浦園解体 ③浮島パーク施設整備 ④小学校の下水道接続 ⑤旧島津小学校解体 ⑥旧東小学校解体 ⑦宿田曾小体育館解体 ⑧旧五ヶ所中学校解体 ⑨旧南島中学校解体

●質問・答弁●

議員 地域活性化対策ということで、南勢の分庁舎解体撤去工事を始め、廃校となった小・中学校舎の解体撤去工事などが7件で、1億3000万円ほど入っている。今回の交付金事業は、地域の活性化対策なのだから、古いものの解体撤去でなく、南島西中学校のひび割れの修繕や、津波時の避難路整備、観光協会や

青空市で要望されている施設造りなどに使うべきではないのか。

行政経営課長 インフラ整備などに使える予算であり、今回は、これまで懸案となっていたながら財政事情でやれなかった解体撤去工事に使わせてもらった。

●質問・答弁●

町長 使い道を早急に報告しなければならぬということがあったので、こういうことになった。

議員 新型インフルエンザ対策事業ということで、マスク、ゴーグル、グローブ、防護服などの購入費216万円があるが、これらはどこで使用されるのか。

福祉課長 町内で新型インフルエンザが発生した場合に、町職員が初期対策で使う分と、地区での発生に備えて区に少量ながらマスクを配備することを考えている。(全員賛成)

条例の制定・変更

下水道・戸別合併処理浄化槽等の条例の改正

12月議会で提案されたものの、議会から地区説明会を行うべきと指摘がなされ、その間、産業建設委員会に継続調査となっていた議案です。

条例の改正内容は、南勢地区・南島地区の下水道、浄化槽の料金を、基本料金(水道使用料10トンまで)を1575円に統一するものです。

また、来年4月1日から、基本料金を超える追加料金についても、南島地区の現在の84円を168円とし、南勢地区と統一するものです。

●質問・答弁●

議員 南島地区では、4月から基本料金が50%余り上がり、来年度からは追加料金が今の2倍になる。なぜこんなに上がるのか、という気持ちになる人も大勢いる。地区説

討論

明会では、その点はどういう質疑がなされたのか。**委員長** 反対の意見もあったが、料金の統一ということには、ある程度理解をされたという意見が多かった。(全員賛成)

賛成討論 手塚征男議員

合併した町だから、使用料の格差の是正は必要だと思ふ。しかし、是正によって負担増になることも出てくる。このように下水道などの負担が増えていく中で、一人暮らし、高齢者、低所得者の皆さんの負担をどう軽減するか、そういう対策も必要ではないか。

賛成討論 岡田和夫議員

今回の料金改正は、合併したら3年間の据え置きの後、5年後に統一すると協議会の委員によって決められたものである。本来、下水道事業は、本町においては財政的にきびしい事業だ。下水道



五ヶ所浦の下水処理場

医療施設整備基金条例

この条例は、南島メディカルセンターの移転予定に伴い、医療施設整備基金を設置し、医療の拠点を護るための施策を講じることとするもの。

●質問・答弁●

議員 この基金の目的は、第一義にはメディカルセンターで、二義的に町立病院という解釈か。**町長** 一番目がメディカ

討論

ルセンターである。(全員賛成)

賛成討論 手塚征男議員
町長は、施政方針で南島メディカルセンターの移転に伴い、医療施設整備基金を設置し、医療の拠点を守るための施策を講じると言われている。南島地域の医療体制という点では、有床、介護、そして救急ということ必ず中に入れていただきたい。

賛成討論 岡田和夫議員

町長が裏金調査を依頼している、外部監査の期日の延長を変更するもの。期日を平成21年3月31日としていたが、監査に万全を期したいため、6月30日まで延長を願いたい。

●質問・答弁●

議員 3月末を6月30日と変更したいということ

工事請負契約の締結

神前浦の下水処理施設の工事請負契約で、昨年8月28日、11月20日に提案し、否決となってきた同じ議案である。(賛成7反対8)

●質問・答弁●

議員 今回、仮に否決された場合、どういふふうになるのか。否決されたら、ジ・エンドでこの事業は消えてしまうのか。

上下水道課長 正直、私も事故繰越ということは経験がない。汚水処理交付金事業ということで、平成19年から23年まで認められた事業が執行できないとなると、下水道事業の性格上、町単費を投

討論者

反対討論 岡田和夫議員
反対討論 手塚征男議員
賛成討論 山本周也議員
賛成討論 山本嘉昭議員
賛成討論 田中廣光議員

紀勢地区広域消防組合議員の選挙

南伊勢町から選出されていた、倉田珠文議員、稲葉輝輝町長の2名のうち、稲葉町長が紀勢広域消防組合の執行者となったため、新しく上村康広議員が選出されました。

鳥羽志勢広域連合

南伊勢町は 焼却炉建設計画から脱退

鳥羽志勢広域連合の定例議会が2月19日に開かれました。
21年度予算の中心課題は、新しく計画している、ごみ処理施設建設の場所の選定です。

連合議会では、20年度から建設予定地の選定、焼却炉の方式などを調査・研究する特別委員会を設置し、県内外の施設の視察、場所選定のための検討会を行ってきました。
2月19日の議会では、建設場所として地元から誘致要望が出ている磯部町山田区と夏草区について、どちらが建設費、維持管理費の面で有利か、大口連合長に対して様々な質問が出されました。結局この日は、議員の

意見と連合長の意見が合わず、3月15日に延会となりました。
3月15日の議会では、議会冒頭に大口連合長が、建設予定地を「磯部町山田区」とすると発言があったことから、「連合長は独断過ぎる」との意見が交わされる中、採決が行われました。
採決結果は、賛成6反対7で、新年度予算は「否決」されました。



南島のクリーンセンター

南伊勢町選出の、倉田珠文、上村康広、岡田和夫の3議員は、3月19日に連合から事務局長、総務課長を招いて、2名同席の下で南伊勢町の全員協議会を開催しました。全員協議会の席では、各議員から連合の幹部に、①ごみ処理の負担割合を、建設費と維持管理費と持ち人口割りではなく、持込ごみ割合とするのと。
②新焼却施設が完成しても、7年間は南伊勢町のクリーンセンター南島を使用しなければならず、これを連合で買取り取つてくれること。などを焼却施設建設事業への参加の条件だということ。

意見が述べられました。その後、稲葉町長と鳥羽市長、志摩市長の3人の正副連合長会議で、南伊勢町の参加について協議が行われ、南伊勢町が焼却施設建設事業から脱退することが合意されました。
二日後の3月21日、連合の臨時議会が開かれ、冒頭に、大口連合長から「南伊勢町が建設計画から脱退することになった」との報告がありました。この日の新年度予算採決には当町議員も賛成し、賛成10反対3で可決となりました。

「三重県消防広域化計画」では、県の方針として現在の15消防本部を将来的には県域消防本部としつつも、2012年度までを当面の目標として8本部とし、広域化を進めていくこととしています。今後、消防の広域化については、2016年5月までに整備する必要がある消防救急無線のデジタル化と併せて考えていく必要があります。
市町村合併の結果、南伊勢町の南勢地区は志摩広域消防組合、(負担金1億7040万円)南島地区は紀勢地区広域消防組合(負担金1億5782万円)と1町で2消防組合に加入しています。このような市町では三重県においては当町だけであり、全国でも2町あるだけです。それだけに県の消防広域再編計画に対してわが町の防災の拠点が後退する結果にならないように、組合



南島分署

広域消防組合

議会等においてしっかりと意見を述べ見守っています。

主な懸念

- ・通信指令は一箇所で良いと言いますが、違う地域の職員が対応すると出動が遅れるのではないのでしょうか。
- ・効率化に走って二次医療圏を無視した再編が行われれば本来の姿が見失われてしまうのではと不安です。
- ・広域再編計画は、消防署数や職員は減らさないうことが前提で、管理部門の統廃合で余った人員を現場に回せることなどを広域化のメリットに掲げていますが、効果は期待できるのか疑問を抱きます。

神前浦下水処理施設の 契約問題

昨年8月28日に議案提出された、神前浦下水処理施設の工事請負契約議案が、4月14日の臨時議会で7ヶ月ぶりに可決となりました。
この議案は、6回の定例会・臨時会で議案提出され、3回否決、2回撤回の後、6回目で可決されるという、全国でも例がない議決でした。

議案提出の問題

今回の問題は、工事費が安くなるかどうか以外に、議会で議案が否決された場合、町長は可決するまで何度も議案に提案できるという実例を残しました。

分離発注の財政効果

今回の入札では、土木・建築・機械工事を一括入札したことで、落札率は96.6%と、高額工事としては異常な高い落札率となっています。
これまでの分離発注の実例では、直近の下水道機械工事では、18年度の五ヶ所浦の処理施設で、電気機械購入の契約が予定価格の69.7%、水処理機械購入は63.8%でした。



工事中の神前浦の下水処理場

20年度の水道工事でも、土木工事と切り離れた機械工事の場合、75.2%となっています。
しかし町長は、分離発注での入札が必ずしも安くならないという態度をとり続けてきたのです。

このことから、一度、否決された議案は、内容を変更しない限り地方自治法上は、何度も議案提出することはできない、ということになるのではないのでしょうか。

法律遵守の問題

今回の請負契約の問題は、町長が法律を遵守するかどうか、これが試された問題でもありました。少しでも違法の疑いのある場合、行政の長としては、それを確実に確かめるという姿勢が必要なのではないでしょうか。

新型インフルエンザの感染がご心配な方へ

発熱、咳(せき)、全身痛などの症状があり、新型インフルエンザの感染がご心配な方は、まず、下記の保健所等に設置した「発熱相談センター」にご相談ください。必ず、電話でお問い合わせください。感染の拡大を防止するため、直接、医療機関を受診しないようお願いします。(5月21日現在)

●発熱相談センター窓口●

- 伊勢保健所 ☎ 0596-27-5148 相談時間 8時30分～17時15分 (土日・祝日を含む)
- 健康福祉部健康危機管理室 ☎ 059-224-2339 相談時間 24時間対応(土日・祝日を含む) FAX 059-224-2344

町民の皆様へ

- 発熱、咳(せき)、全身痛などの症状がある方は、必ず、マスクを着用しましょう。マスクがない時は、ハンカチなどで、口と鼻を覆うなど「咳(せき)エチケット」を守りましょう。
- 外出時は、マスク等を着用し、帰ったら必ず、手洗い・うがいをしましょう。
- 新型インフルエンザの詳しい情報は、三重県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kenkou.pref.mie.jp>



11人が 町政を問う

一般質問

脇海道耕一



校舎の解体とその後の利用計画は

問 地域活性化臨時交付金事業で、校舎の解体が多数計画されているが、跡地利用についての考えは。

答 教育長 跡地利用については各区の区長との協議の上、地区の意向を十分お聞きかせたいと考えています。



旧南島中学校

問 昨年6月議会でも質問した旧五ヶ所中学校跡地について民間の老健施設への貸与の話は終わったのか。

答 町長 現在は保留となっており、新たな候補地選定も含め調整中である。

問 役場の分庁舎解体も計画されているが、跡地の利用計画は。

答 町長 駐車場に活用していきたい。

国道260号線について

問 南島地区工事の完了は何年になるのか。また木谷工区は。

答 町長 平成25年迄に完了を県、国に要望している。木谷の工区についても、同様である。

問 船越地内の予定と計画は。

答 建設課長 危険な状態にあるのは認識している。



完成を待つ南島新トンネル

問 現在工事中の3工区の早期完成を目指し、次に船越バイパスの着手検討を期間内着手へとランクを上げていくのが当面の課題と考えている。

問 県道伊勢南勢線の完成は。

答 建設課長 平成21年度をもって完成となる。

上村久仁



産業振興・町づくりについて

問 町長は地場産業である一次産業が重要であると示しているが、現状の認識とこれからの町づくりは何を中心に進めていくのか。

答 町長 農林水産業とも産業をとりまく環境の悪化や担い手の不足等により、町の活力を支える産業として厳しい局面が続いている状況であると認識している。町づくりの中心は当町で生産される一次産品に付加価値を付けたら、安心安全食材であることの情報発信や、地産地消の取り組み、新たな需要の掘り起こしと販売拡大など検討しながら、産業振興、町づくりに取り組む考え



市場の水揚げ風景

雇用対策は

問 世界的不況の影響も受け、雇用失業情勢はわが町においても不況の影響が見られ、町民が危機感を持っており、雇用問題も日増しに深刻化しているが、今の現状の認識は。

答 町長 世界的な金融危機により特に製造業部門での非正規職員の解雇に始まり様々な業種にも波及しており、雇用経済情勢も日増しに深刻化している状況であると認識している。

緊急雇用対策の活用も含め今後の対策は。

答 行政経営課長 国の第二次補正の緊急雇用事業に町の雇用対策の内容が固まり次第に申請する。

建設業の現状は

問 建設業の現状の認識は。

答 町長 本場に厳しい状況である。半減どころか3分の1、もつと悪くなつていくという状況である。

問 国土交通省は8項目の緊急要請を行っている、都道府県から市・区・町まで周知徹底されていると思うが現状は。

答 建設課長 総務省・国土交通省から8項目の緊急要請がきている。県の動向、近隣市町の動向も視野に入れ、慎重に検討していきたい。

手塚征男



消火栓・ボックスの管理状況は

問 防災問題とくに南島地域の消火栓・消火栓ボックスの維持管理の改善をどう考えているのか。

答 総務課長 初期消火活動に欠かせない消火栓・消火栓ボックスの維持管理については、今後、町の責任において、消防団と広域消防で点検・維持管理すること、団と区へ徹底していく。

今後どうなる南伊勢

問 町長は合併して3年余をどう振り返っているか。



手摺りのある場所

神前区は

問 町が認めた法人格を有する区の問題は総会も開かぬ神前区に、町は何も言わないのか。

答 町長 正月の初日待ちのときの各組の集まりなどが総会に代わるものと認識している。私も手塚さんも区民の一人、一緒に区長に会う。

不明金の今後

問 不明金は町幹部が関わっていたのだから、歴代のトップ等から、返済を考えよ。

答 町長 事実が判れば協議の上で対応したい。6月には判つてくると思っている。

西 則孝



暮らしの安定は どうなる

問 世界的な経済不況の中で本町の産業の景気と雇用状況の把握とその対策について伺う。

答 町長 産業全般にわたって低迷状況にあると思う。雇用状況は人員の削減を行う事業所もあり、今後、産業支援センター等の補助事業の活用を計り前向きに取り組んでいきたい。

産業振興課長 雇用については、国よりの財源のあてがつき、ふるさと雇用再生事業と緊急雇用の創出事業が早ければ今年4月よりのスタートと考えている。

問 不況の中で町としてのどのような姿勢で役割を果たしていくのか。

答 町長 現場をしっかりと把握し、見極めながら物事を進めていきたい。

問 住民への生活支援の具体的な施策について伺う。

答 町長 20年度補正予算に生活対策として、定額給付金事業、子育て支援特別手当支給事業や地域活性化生活対策事業を上げしている。

問 働く意欲のある若い女性に対しての具体的な支援策は現在何があるのか。

答 福祉課長 延長保育につきましましては午後4時から6時まで実施している。

教育長 放課後子どもクラブのプランという形で運営委員会を持っている。今後、宿田曾小学校・穂原小学校の実施に向けて検討をお願いしている。



保育所の風景

行財政改革は どうなる

問 本町の行財政改革の影響について伺う。

答 町長 景気後退に伴い地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の落ち込みを心配している。今後も引き続き徹底した事務事業の見直し等による行財政改革の健全性の堅持に努めながら行いたい。

問 景気後退に伴い地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の落ち込みを心配している。今後も引き続き徹底した事務事業の見直し等による行財政改革の健全性の堅持に努めながら行いたい。

橋本剛匠



観光産業の 必要度は

問 町の閉塞感を脱皮するには観光産業の見直しが必要と思うが、必要度について町長の考えは。

答 町長 豊かな自然と豊富な資源に恵まれたわが町にとって重要な産業であると認識している。



下津浦の海岸線

問 「子ども農山漁村交流プロジェクト」という国の施策があるが検討する考えは。

答 町長 農協・漁協等とも協議し協議会の立ち上げ等検討していきたい。

地区への職員派遣は

問 過疎化の進む地区へ職員を派遣し、地域の経営、村づくり等に参加すべきでは。

答 町長 連絡員の仕事も兼ね、地域おこしの立案も参加する職員の派遣も検討しているが、地域の受け入れられないという認識も必要となることで課題もある。

問 集落支援員制度とはどのような制度か、また取り組みについてどのように考えているのか。

答 町長 住民と行政が協力し集落対策に取り組み制度である。行政経験者、農業委員、農業関係従事経験者、NPO関係者など地域の事情に詳しい人材を活用しながら人材を活用し、集落

問 集落支援員制度とはどのような制度か、また取り組みについてどのように考えているのか。

の現状、課題について見直しや集落対策にあたる。超高齢化地域のある当町でも早急に取り組んでいきたい。

バスの委託料について

問 通園、通学バスの委託先は。

答 町長 自主運行通学バスは三重交通株式会社。通園バスがタクシー会社と個人委託である。

問 委託料積算の根拠は。

答 町長 業者からの見積りを根拠としている。

問 事業の見直しは検討したか。

答 町長 三重交通関係各課とも協議をしている。

問 将来の考えは。

答 町長 自主運行バス利用者の混乗も検討している。

岡田和夫



不況の中でのように 住民の暮らしを守るのか

問 世界的な経済不況の中で、当町の真珠養殖や他の養殖業、農業、観光産業などに一層の影響が出ると思われる。町長は、町内で経済不況の影響がどのように出ているか、緊急調査を行っているか。

また、住民の暮らしが厳しくなっている中で、町としてのような暮らしの支援策を考え、実施しようと考えているのか。

答 町長 経済不況の緊急調査は行ってはいない。

支援策としては、厚生労働省が取り組む地域の雇用機会を作る雇用再生交付金事業と、中高年齢者の一時的な雇用をつくる

る緊急雇用創出事業について、各課で計画を策定しているところである。町としても、住民の暮らしを守るために対応しなければいけないと思っ

町立病院の今後の運営充実への考え

問 過疎高齢化が進む町の将来を考えると、医療・保健・福祉の充実が町行政として重要な課題だ。その中で、町立病院の充実について、

①医師と看護師の確保
②医療・保健・福祉の連携
③老人保健施設の建設について、町長は今後どのようにしていく考えか。

答 町長 町立病院には5名の常勤医が必要であるが、不足する2名分については、三重



町立病院

大学付属病院など関係機関から協力をもらいながら対応しているところである。看護師についても必要数に不足を生じているので、努力しているところである。

医療・保健・福祉の連携については、地域包括支援センターを中心に総合的にサービスが受けられるよう調整を行い、問題解決に取り組んでいきたいと考えている。

老人保健施設については、在宅介護の充実とともに、施設整備も必要だと認識はしている。

山本善昭



財政計画と町づくり における町長の考え

問 財政計画を踏まえ、町づくり、安全・安心の町づくりを、町長はどのように考えているのか。

答 町長 町づくりについては、各地域の実情に応じた経済活性化と生活基盤の整備に努めていきたい。

安全・安心の町づくりについては、医療環境の悪化が当町における大きな不安要因であるので、この解消に向けた取り組みを行いたい。

問 重要なのは、硬化した財政をこれよく活用することである。特色ある町づくりのため

に、一般財源をいかに有効活用するかを重視してもらいたい。

産業振興と働く場所 確保の対策は

問 町の活性化には、産業振興、所得を高めること、働く場所を増やすことである。そのための対策を町長はどのように考えているのか。

答 町長 当町の経済の活性化は何と言っても一次産業の振興が肝要であると思つている。しかし農林水産業においては非常にきびしい状況が続いている。

問 地球の温暖化とは、町長の所見を伺いたい。

答 町長 この問題は、生態系や人類への深刻な影響が懸念される重要な環境問題であると認識している。

大変大きくかつ幅広い問題であるが、温室効果ガスの削減対策は、民間のレベルでも一定効果があると認められており、小さなことから、レジ袋を使わないこと、節電、節水など、できることから取り組んでいくべきだと考えている。

地球温暖化に対する 町長の考え

問 地球の温暖化とは、町長の所見を伺いたい。

答 町長 この問題は、生態系や人類への深刻な影響が懸念される重要な環境問題であると認識している。

大変大きくかつ幅広い問題であるが、温室効果ガスの削減対策は、民間のレベルでも一定効果があると認められており、小さなことから、レジ袋を使わないこと、節電、節水など、できることから取り組んでいくべきだと考えている。

山本周也



倒木対策

問 防災上の観点から災害時に起こり得る倒木による被害を出来る限り未然に防ぐ政策を実施することが必要ではないかと思うが、町長の考えはどうか。

答 町長 色々な予算のメニューの中で、出来る事なら補助事業、県単等を導入してすれば



住宅に覆った裏山の木

予算価格と入札価格の差

問 機械器具、設備等の予算計上における価格設定のあり方はどのような経過でなされているのか。

答 町長 南伊勢町予算編成及び執行に関する規則の規定により、予算編成を担当する行政課長が編成方針を定め、主務課長に通知及び説明し作業を進めている。

経費の削減になることは当たり前で緊急性があれば、私は一般財源を使っても対応させていきたい。

問 予算価格と入札価格の差が大きいという事から、予算査定において工夫すべきではないか。

答 町長 予算というものは事業実施のために根拠性の高い見積りをもつて編成されています。その上で競争原理を正しく発揮していただいで、入札が行われるという事でご理解願いたい。

4月から下水道料金の値上げ

問 4月1日から下水道関連で南島地域の365世帯、合併浄化槽の設置213世帯の基本料金が525円上がることになる。今の時期からして非常に厳しいが、料金の負担増について町長の考えは。

答 町長 下水道を運営していくには、住民に厳しいが、理解を

東 伊久雄



超高齢化地域への取り組み

問 過疎化が急激に進むなか、早急な行政による対策がなるとしても必要である。耕作放棄地の増大、空き家の増大、森林の荒廃、ゴミ不法投棄の増大、伝統行事の衰退、生活に必要なサービスの低下、そして移動手段の不便と様々な問題点が浮上している地区がある。対策について町長の考えは。

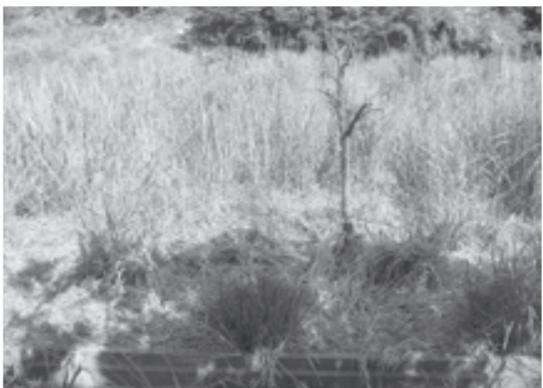
答 町長 地域の実態を把握し、今後の対応方向について地区とともに検討していきたい。行政経営課長 空き家については観光協会でも新規事業として取り組んでいるので連携し進めていきたい。

産業振興課 耕作放棄地について現状調査はしていないが、国からの指示もあり今後調査の上、改善計画書も作成していきたい。

産業活性化への取り組み

問 少子高齢化、過疎化に歯止めのかからない現状の中、景気後退とあいまって基幹産業である一次産業は危機的な状況にあるが、地域の

答 町長 地元産品を活用した商品開発等、一次製品に付加価値を付けることは、非常に有効であり進めていきたい。高齢者のかたがたの生きがいの場として有効化施設とともに検討していきたい。



耕作放棄地

澤村圭也



導入される新方式サービスの低下

問 要介護認定における新方式が導入されると、聞き取り調査における判断基準が大きく変わり、重度の寝たきりの人は、これまでより軽く認定される事になると言われている。何より深刻なのは、要介護者とその人を介護している家族の人達が今まで受けられた介護サービスを受けられなくなるので、町としてしっかり判断し、関係者に指導するようにしてもらいたい。

答 福祉課長 判定で状態がおかしいと感じる部分があれば、町の方を言ってもらえば、町から広域の方に指摘をするようにしたい。

南伊勢高校生のバス代を

問 中高一貫の中で、南伊勢高校に通っている地元生徒のバス代をなんとか、小中学生と同じようにならないか。教育長の意見を聞かせてほしい。

答 教育長 該当する子が何人いるか、どれだけの経費が要るのかいつか考えてみたい。

区民が待ち望んだコミュニティ



現在の押淵公民館

問 新年度予算で、押淵泊間浦の2地区のコミュニティ施設の建て替え予算を入れてくれているが、これまで地域の住民から色々な要望があったと思いますが、町長の意見を聞きたい。

答 町長 押淵地区、泊間浦地区の区長さんと設計内容及び施工時期等について打ち合わせを行っているところで、予算の範囲内で地域の要望と使い勝手のいい物を建設していきたいと考えている。



町バス

上村康廣



議員定数をどう考える？

問 議会経費の削減の考え方の中で当町について、議員1人当りの住民数、議員報酬、会議日数の比較、当初予算に対する議会費の比率について知りたい。

答 総務課長 左表の通りである。

問 本来は議会により議員定数を決めることであるが、町長提案で議員の削減の案を出している町がある。町行政の組織の立場から見るとどのように考えるか。

答 町長 近隣の各町との比較を見ると、議員数が多いとか、歳費が高いとか言うことは感じない。議員1人当りの住民数は玉城町に続いて効率がいいということを改めて感じた。

問 特に高齢者の家庭では基本水量に達していないことを考えると割高な水道料金となる。提案だが基本水量10mから7mに下げたらどうか。

答 町長 水道料金の現状は19年度の実績において、上水道では38%、簡易水道では40%の家庭がある。

問 高齢者の救済が必要では水道事業について、基本水量10m以下

答 町長 弱者の方々に負担がかかっていることは承知しているが、色々施設の、運営的な経費もあるのでその辺のところも勘案しながら進めていくことが必要だと思ふ。

問 支給は早くすべきである

答 町長 定額給付金についてはその支給時期はいつからか。できるだけ早くすべきではないか。

答 町長 色々な手続き上の問題もあり5月中旬頃になる。出来る限り間違いのないよう進めたいと思ふ。

近隣町との比較

項目	南伊勢	度会	玉城	大紀	大台
議員1人当りの住民数	979人	763人	1,084人	667人	712人
議員報酬(月額)	19.0万円	19.7万円	19.5万円	20.0万円	17.7万円
会議日数(年間)	126日	66日	76日	50日	74日
当初予算に対する議会費の比較	1.1%	1.8%	1.7%	1.2%	1.0%

その後

どうなった？ どうなってる？

議員の一般質問等でとり上げられた事柄について、その後の動きについて追跡調査しました。

質問	経過および結果
救急車の車体が大きくなり 大方地区への通行ができない状態を至急に改善すべきではないのか？ (平成20年12月定例会)	<p>本年4月1日より大方地区へも入れる救急車を配備いたしました。</p> <p>住民の皆様の生命と財産を守るため、役割をしっかりと果たしていきたいと思えます。</p> <p>(総務課)</p>  <p>配備された救急車</p>
平成20年度に高速道路が開通するが、これに伴う南伊勢町の案内版の設置はどうなっているのか？ (平成20年6月定例会)	<p>紀勢・大内山インターは2月7日に開通いたしました。本町の南の玄関として重要性は充分認識をしているところです。関係各方面との協議を行い、案内板の設置は写真のとおりとなりました。</p> <p>(建設課)</p>  <p>案内板</p>  <p>出口の案内板</p>

議会の動き

議員行政視察が次の目的と日程により行われます。

(目的と内容)

- ・グリーンツーリズムについて
- ・情報の共有化、住民自治のまちづくりとは。
- ・ゆず・杉など地元産品の商品化事業とは。
- ・「彩」産業のシステム化、第3セクターによる町の活性化について。

以上の他、町づくり全般についての目的で研修を行います。

(派遣場所と日程)

- ・1班・2班 北海道(長沼町、ニセコ町、蘭越町、岩内町) 5月25日～27日
- ・3班 島根県海士町、高知県馬路村、徳島県上勝町 6月1日～4日

本年は3班に分かれて各議員の研修要望に沿って形で実施されます。

町民も変わる 社会も変わる



議会改革＝定数削減？
税金の無駄遣いだから議会は要らない？
議会ってそもそも討論する場じゃなかったの？
町民は議会で発言できないの？
議会って何をやっているの？
議会活動は町民に伝わっている？



北海道栗山町での研修

議会が町民の代表機関として、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために果たすべき役割は、将来に向けてますます大きくなります。特に地方分権の時代を迎えて、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、議会はそれをもてる権能を十分に駆使して、自治体事務の立案・決定・執行・評価における論点・争点を広く町民に明らかにする責務を有しています。

自由活発な討議を通して、これら論点、争点を公開することは討論の広場である議会の第一の使命であることから、私たちは南伊勢町議会にとって、もっともふさわしく望ましい議会基本条例を9月議会に向けて作成しています。

この条例に定める議会として、独自の議会運営ルールを遵守し、実践することにより、町民に信頼され、存在感のある、豊かな議会を築きたいと思えます。

- 行政と馴れ合わない議会
- 税金の無駄遣いになってはいけない議会
- 議員同士が責任をもって討議する議会
- 町民も参加できる開かれた議会
- 積極的に情報を公開し透明性のある議会

住民の声

声

役場職員の電話対応が横柄だ。相手の顔が見えないのだから言葉づかいをもっとていねいにすべきだ。

回答(総務課)

職員一人ひとりの適切な言葉づかいや行動・服装といった接遇対応が基本的なものと考えております。ご指摘の電話での対応についても十二分に考慮した対応が求められていると認識し、職員への認識と啓発をより行い、今一度注意・喚起を促したいと考えています。

声

住民が南勢庁舎に来て相談する場所が2階に登る階段の下では客に失礼ではないか。

回答(総務課)

個々の相談業務については重要なことと認識させていただいております。今後につきましては、相談内容によりましては、本年4月からドアで仕切られた相談室を御利用していただきます。何卒ご理解ください。(☎0599-66-1111)



訪問に出掛ける院長先生



声

町立病院にかかっているが、92歳のため通院ができない。薬を出してほしいが往診してもらえないか。

回答(町立病院)

病院運営の経費のことも考えさせて全ての方に訪問診療や訪問介護を提供できませんが、事情を勘案して検討させて頂いておりますので、お困りの方は一度病院の医療相談室にご相談ください。(☎0599-66-0011)

声

奨学資金の返還について、これまでの一括払いを月賦払いにできないか。

回答(教育課)

現在は償還は年一括払いですが、経済的理由により一括払いが困難なため分納したい場合は、相談により支払方法を変更いたしますので教育課までご連絡ください。(☎0596-77-0002)

議会広報特別委員会

委員	西 則孝
副委員長	澤村 圭也
委員	岡田 和夫
	太田 久幸
	伊久雄

議長 倉田 珠文

議会だよりについて
のお問い合わせ等は、議
会事務局までご連絡く
ださい。
☎0599-661781

水田は日増しに緑が濃くなり、この議会だよりが皆様に届くころには梅雨本番を迎えます。今回から町民皆様の声をより多く聞き、行政の改善につなげていくために、「住民の声」のコーナーを設けました。皆様の考えや気持ち、思いをお近くの議員までぜひお寄せください。

編集後記

